

職業別

市長と話そう!

タウンミーティング



花園町通りの整備について模型を使い説明する野志市長

● えひめ国体までに、花園町の街路整備を完了させてほしい

● 街路整備完了後に、記念イベントを実施したいと考えているので協力してほしい

● イチョウ並木の樹勢が弱まっているので、樹木の専門家にメンテナンスをしてほしい

「中心市街地の活性化について」をテーマに開催

花園町商店街の関係者12人が参加し、「中心市街地の活性化について」をテーマに平成28年11月22日、職業別タウンミーティングが開催されました。参加者からは、商店街の情報発信やにぎわいづくりなどについての意見や要望が挙がりました。野志市長は、市ホームページで公開している「まつやま中心市街地2050ビジョン」を動画で紹介し、「皆さんと一緒に、よい形で花園町を将来に残していきたい」と話しました。

意見・要望

直接意見が伝えられた



西山 隆彦さん (花園町)

市長との距離が近く、直接意見が伝えられました。市と連携しながら、イチョウの木や、広い道幅を活用し、花園町をより魅力的な場所にしていきたいです。

町タウンミーティング課 ☎ 948 6333
FAX 934 2336

1月15日(日) 開催

地球人まつり in まつやま・えひめ2017

市民と市内在住の外国人の皆さんとの楽しい交流イベントです。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。



昨年の様子

日時 1月15日(日)13～17時
会場 総合コミュニティセンター (湊町七丁目) 企画展示ホール1・2階

内容 遊ぼう! 80分間世界一周! = 「地球人パスポート」を片手に世界の国々のブースを回り異文化体験 ▶ 知ろう! えひめの地球人! = 県内の国際交流活動団体などによる活動紹介 ▶ 味わおう! 地球人バザー = 世界の料理を紹介、チャリティーバザー ▶ 楽しもう! 地球人パフォーマンス = 世界各国のダンスや音楽演奏などを披露 ▶ 着てみよう! 民族衣装! = 世界の民族衣装の試着体験

料金 無料(バザーは有料)

☎まつやま国際交流センター ☎943-2025・FAX931-2041、 県国際交流センター ☎917-5678・FAX917-5670

「ことば」を使ってみませんか

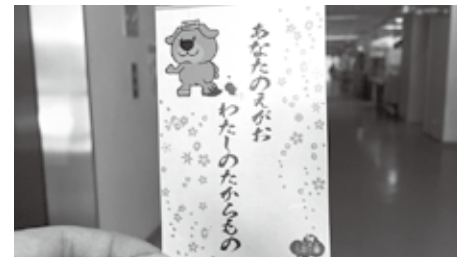
街はことばのミュージアム

全国から寄せられたことば作品を街中に掲出し、ことばで街を元気にするまちづくりを行っています。ことばのちからホームページ <http://www.kotobanochikara.net> に掲載されている「ことば」は、簡単な申請で使うことができます。ぜひ、「街はことばのミュージアム」にご参加ください。

申し込み 利用規約を確認の上、申請書(ことばのちからホームページにあり)をことばのちから実行委員会事務局(文化・ことば課内)へ
※詳細はホームページを確認



カレンダーに



名刺に



自動車に



施設に

☎文化・ことば課 ☎948-6952・FAX934-1287



交流の様子

台北市には、古い歴史を誇る「北投温泉」があり、道後温泉旅館協同組合と交流協定を結んでいます。今年で締結5周年を迎え、平成28年10月20日から開催された「台北温泉まつり」に、本市の関係者が参加し、PRを行いました。台北市の子どもたちが本市から贈られたみこしを担いでにぎやかなパレードが行われるなど、両市の交流が深まりました。

☎国際交流課 ☎948 6887
☎943 9001

「台北温泉まつり」で交流

10月20日 本市関係者が参加しPR

台北市には、古い歴史を誇る「北投温泉」があり、道後温泉旅館協同組合と交流協定を結んでいます。今年で締結5周年を迎え、平成28年10月20日から開催された「台北温泉まつり」に、本市の関係者が参加し、PRを行いました。台北市の子どもたちが本市から贈られたみこしを担いでにぎやかなパレードが行われるなど、両市の交流が深まりました。

こんにちは 松山



映画監督 真利子 哲也さん

1981年生まれ。東京都出身。法政大学在学中より映画を自主制作する。『ディストラクション・ベイビーズ』でメジャーデビューを果たすと、国内外を問わず高い評価を受け、ロカルノ国際映画祭に続き、第38回ナント三大陸映画祭の準グランプリ「銀の気球賞」に輝く。

オール松山ロケで制作された映画「ディストラクション・ベイビーズ」で第69回ロカルノ国際映画祭新進監督コンペティション部門・最優秀新進監督賞を受賞した真利子哲也さんにお聞きしました。

松山を舞台に選んだ理由は
別の仕事で松山に来た時に出会った人から、今作へのインスピレーションが生まれ、その人の話をもっと聞くために足を運ぶようになってから、本当に松山が好きになり、この場所で映画が撮れたらと思いました。

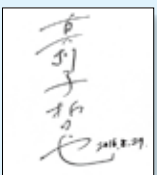
ロケ地としての松山の魅力は
中心市街地や道後地区といったにぎわいもありつつ、少し路地に入るとガラッと雰囲気が変わり、奥ゆかしい部分もあって、とても奥行きのあるまちに感じます。本作で生じる兄弟の行き違いはそんな風景をうまく生かし、撮影することができました。

人と人とのつながりが映画を形作る

海外で高く評価されたことへの感想は
松山で出会った全ての人たちと一緒に作り上げた作品なので、みんなで受賞の喜びを分かち合えたのがうれしいです。国内外を問わず面白いと思ってもらえる作品を目指して、こうして良い結果がもたらされたことで協力してくれた方々に一つ恩返しできたかもしれないですね。

今後の抱負を
今作は「人と人との横のつながり」が全てを形作ってくれました。デビュー作を松山の人たちとともに作り上げることができ、本当に幸せ者です。今後も作品を作り続けていく中で、コミュニケーションを大切にしていきたいです。

読者プレゼント



真利子哲也さんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

☎応募先 〒790-8571 シティプロモーション推進課「真利子哲也プレゼント」係
はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙への意見を書いて、1月31日(火) (必着) までにお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。